

照明器具の設置年度の状況（区分Ⅰ）

● 対象事業所から、2018年度に提出された点検表（2017年度実績）をもとに集計（第三者検証なし）

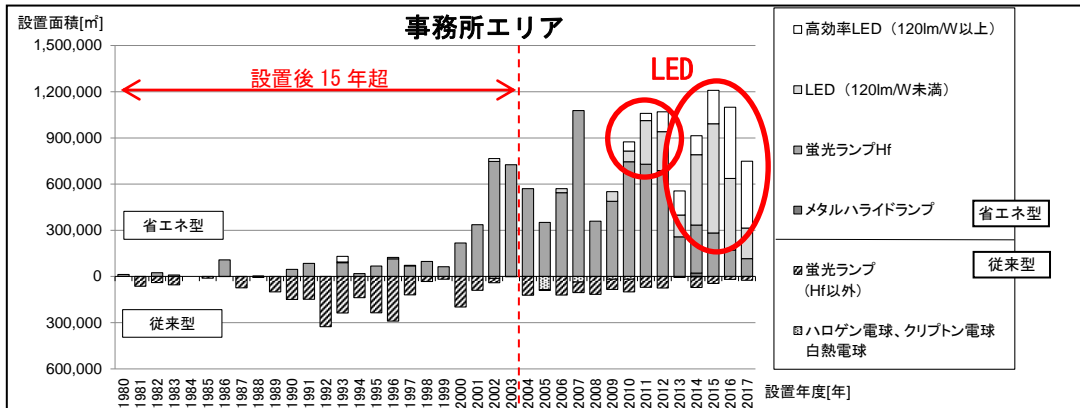


図1 事務所エリアの設置年度別の照明器具

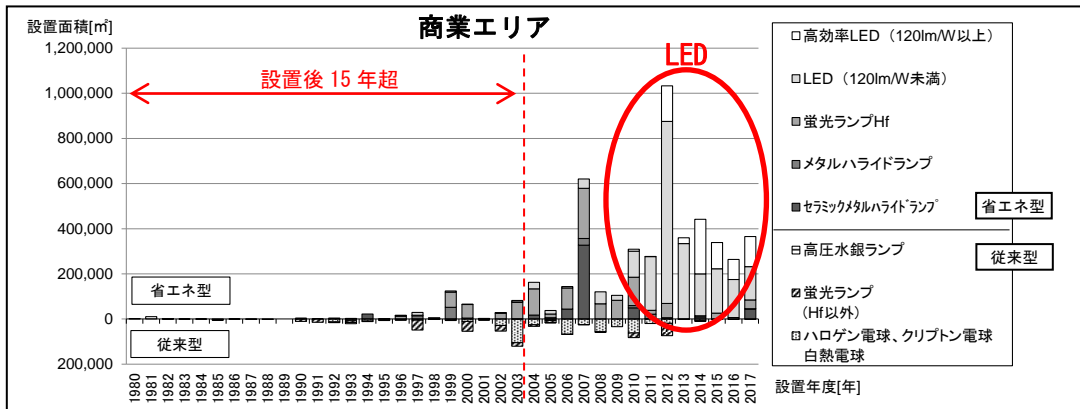


図2 商業エリアの設置年度別の照明器具



図3 電球型LEDの省エネ効果

＜まとめ＞

- ① 設置後15年超（2003年より古いもの）経過した従来型の照明器具は、「事務所」用途で全体の14%、「商業」用途で7%存在している（図1、図2）。
⇒今後も、これらの高効率機器への更新により、削減が見込まれる。
- ② 「事務所」用途では、直管形又はコンパクト形の蛍光灯の照明器具の採用が多いことから、近年でもHf照明の採用が多くみられたが、2013年度以降の設置では、設置する照明の5～8割以上をLED照明が占めている。
⇒今後、直管形又はコンパクト形のLED照明の効率向上・普及が進むにつれて、「事務所」用途においても、更なる照明器具の高効率化が期待される（図4）。
- ③ 「商業」用途においては、2010年度以降にLED照明の普及が進んでおり、2013年度以降は、設置する照明の9割以上がLED照明となり、従来型照明の採用はほとんど見られなかった（図3）。

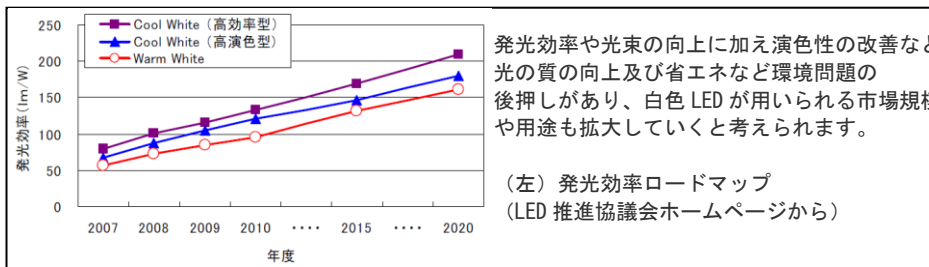


図4 LEDの発光効率のロードマップ